

<水泳：姿勢と課題>

4月の終わりに遠征に帯同しました。会場は標高 2600m で 50m の室内プールでした。今回は重要な大会として位置付けていたので、選手も同僚達もいい緊張をもって会場入りことができました。周りの雰囲気にも飲まれず何人が前回の課題を意識して泳げるか、これが注目どころでした。

エクアドルの食事は脂質が多く含まれています。油物は多く、全国至る所でフライドポテトを売る露店を見かけます。食堂でも同じで、油を使ってお米を炊く習慣があります。油は消化に時間がかかることは皆さんのご存知でしょうか。消化に時間がかかるということは、消化のためにエネルギーを消費してしまうということです。これはエネルギーの温存という点でスポーツ選手には致命的なことです。同僚達はこれを避けるため今回は食事にも気を配ってくれました。日頃の会話でこういう話をしたことがよかったのかもしれない。

姿勢や態度は良くも悪くも伝染するものだと思います。同僚達が食事に気を遣ったり、宿泊場所の手配をしっかりとってくれたおかげで選手達は試合に集中できた様子でした。課題を意識して練習し、手ごたえを感じていた選手がいてくれてよかったです。水泳はタイムで勝敗が決まるので、数字は大切です。ですがタイムが全てではなく、一番大切なものでもありません。「いかに努力するか」、これをさらに真剣に考えて泳いで欲しいと最近よく思います。

総合結果は全体で 6 位と同じ大会で今まででの 1 番いい成績だったそうです。全国大会でこの成績なので文句なしに上出来です。次の大会まで時間があるので、目標をさらに具体的に設定させ、練習の効率を上げ「目指せ全国制覇」です。



エクアドルで一番設備が良いと言われるプールです。写真には1つしかプールが写っていませんが、中央奥の飛び込み台の下に1つ。その隣にもう1つ児童用のプールと合計3つプールがあります。そして温水プールで、一番小さな児童用のプールは大会期間中暑めのジャグジーになっていました。違う国からトレーニングに来るチームもいるようで、そういう所からも設備の充実性が伺えます。



クエンカという都市で試合が行われたのですが、そこは街並みが世界遺産に登録されていてまるでヨーロッパに来た気持ちになります。スペインの植民地都市として建設されたそうです。クエンカには今まで3回来ましたが、毎回違う国に来ていると思ってしまいます。個人的にはイタリアのフィレンツェに似ていると思っています。

<カカオ>

僕は日曜日以外仕事があります。普段家族と過ごす時間は食事の時くらいなのですが、先日家族の所有するカカオ農園に連れて行ってもらいました。

僕の通信の名前にはバナナを使っていますが、任地のマチャラはカカオの生産でも有名な土地です。マチャラで1番大きなカカオ農園では毎週約700万円の利益を上げていると家族に聞きました。年間の収益は僕にとっては幾何学的な数字です。

カカオといえばチョコレートです。カカオという名前は有名ですが、実際カカオを見たことがある人はどのくらいおられるのでしょうか。チョコレートを作るためのカカオは実の中の種を使います。その実の生え方がとても衝撃的で、僕はココナツのように木の上の方に生えていると勝手に思っていました。農園に入って腰より低い位置にカカオがあり、まず驚きました。

実のなる枝は選定されていて、選ばれた枝には桜の蕾に似たカカオの花が咲いていました。これが成長してカカオになります。実になったカカオはアメフトのボールと同じくらいのサイズで遠目から見ると巨大なミノムシのようでした。何個か枝に対して垂直に生えていて不思議でした。

エクアドルではチョコレート工場ですべての豆を挽くところからチョコレート作りが体験できる場所があります。いつか行ってみたいものです。



初めて見たカカオの実。木陰にあることから木の下の方に生えていることがお分かりでしょうか？



木の幹から生えるカカオ。重力に逆らって真横に生えています。木の上の部分にあるのがカカオの花です。桜の花のつぼみに似ていませんか？